

歴教協第43回中間研究集会「戦後80年と現代—2025年東京大会に向けて」を終えて

歴史教育者協議会研究委員会

1、2025年第43回歴史教育者協議会中間研究集会プログラム

日時 2025年1月12日(日) 10時～16時

場所 東京労働会館・ラパスホール(対面+オンライン)

- ①開会 10:00
- ②午前講演会 10:15～12:00 (1時間45分)
 - 講師 羽場久美子さん(青山学院大学名誉教授)
 - テーマ「戦後80年、私たちは何を若者たちに伝えるべきか？」
- ③昼食 12:00～13:00(羽場さんサイン会あり)
- ④午後報告 13:00～15:05
 - 報告者①大根田朱里さん(千葉県歴史教育者協議会)
 - テーマ「子どもたちと考える戦争と平和—総合学習の取り組み」
 - 報告者②小川輝光さん(神奈川県歴史教育者協議会)
 - テーマ「地域で取り組む『戦後80年』への歴史実践：神奈川と横浜から」
- ⑤休憩 15:05～15:15
- ⑥意見交流 15:15～15:55
- ⑦閉会 16:00

2、報告要旨

2025年1月12日に、第43回歴教協中間研究集会が豊島区南大塚にあるラパスホールでおこなわれました。山田朗委員長より、戦後80年に関わっての歴史認識の問題を問う挨拶がありました。

午前中、羽場久美子さん(青山学院大学名誉教授)より、「戦後80年、私たちは何を若者たちに伝えるべきか？」の記念講演がありました。

はじめに「二度と、近隣国と戦争をしてはならないということ」の話がありました。日清・日露戦争から振り返り、全方位外交と地域での不戦共同体をつくることを強調されました。また、さまざまな世界の経済指標をもとに、中国はじめとする新興国の躍進と日本の停滞について示されました。21世紀半ば以降には、



教育とITによって新興国がさらに躍進することを、データをもとに立証されました。そしてアメリカの世界戦略について、基本は自国を戦場にせず、民主主義を訴えながら護衛戦争に徹することが多いことを指摘されました。またアジアの急速な軍事化の問題、そして朝鮮民主主義人民共和国の軍事大国化と、核爆発の危険性について述べられ、アメリカの覇権による平和ではなく、アジアの共同体をもとに平和を構築する必要性について、沖縄の現状をもとに訴えられました。質疑では、若者へのアプローチについて、世代による大国認識について、台湾問題についての質問がありました。

午後は大根田朱里さん(千葉県歴教協)から小学校4年生の「子どもたちと考える戦争と平和—総合学習の取り組み」が報告されました。たのしいことと自分事として考えることを目標にされた実践です。「沖縄ってどんなところ？」から始まり、運動会でのエイサー踊り、アニメ絵本『対馬丸』の読み聞かせ、国語「一つの花」の学習、「焼き場の少年」の写真からの話し合い活動、日中韓平和絵本『へいわってどんなこと？』読み聞かせ、在日韓国人の保護者の方への読み聞かせ、「HEIWAの鐘」を歌うなど、壮大な平和教育実践でした。「総合」実践を進めるうえでの自由度や、実践者の実践意図の背景などに関する質問がありました。

小川輝光さん(神奈川県歴教協)からは「地域で取り組む『戦後80年』への歴史実践—神奈川と横浜

から」の報告でした。実践の背景をお話された後、神奈川と横浜の説明、社会科部生徒と関東大震災の学校史資料を読み、朝鮮学校との交流や光州市・成徳高校と交流を進めた実践、神奈川大学国際日本学部での「戦争と歴史認識」講義についてお話されました。地域の継承運動に学びながらそれを伝える取り組みであり、横浜市に関東大震災の碑を創ることを要求する等、平和の主体が育ちつつあることが感動的でした。

総括討論では今後の平和を築く展望について、戦後世界史の体系的な学びについての提起もありました。今が夜明け前ということばに勇気をもらいました。

3. アンケートから

《研究集会はいかがでしたか》

講演も実践報告もたいへん好評でした。

○多くの資料から世界の今を語られ、事実から導かれる現状と未来には大変説得力がありました。大きな枠組みでのお話が大変わかりやすかったです。難しい構造になっている近現代史を、易しいシンプルな言葉で話されるスタイルは、多くの講演や授業を積み重ねて来られたキャリアもそうですが、羽場さんのお人柄も感じました。教える者として参考になりました。

アジアとの協力なくして平和は成り立たないこと、これを自分の解にして今後の授業や研究、現代理解に用います。

寝ずに準備されたと伺いました。羽場先生どうぞご自愛ください。また先生のお話を伺いたいです。ありがとうございました。

※ごく一部、資料提示について要望がありました。

ご参加いただいた皆様、参加はできなかったものの宣伝をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。それでは、みなさん、夏の東京大会でお会いしましょう。